



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 233号 2011.1.12 発行 社会政策研究所

「障害者」表記：障害、障がい、それとも障碍？ 政府部会は変更見送り / 山口

毎日新聞 2011年1月12日

県も原則のまま

10道府県が「障がい」 見直し進む

障害者の「害」の字を巡り、表記を模索してきた政府の作業チームは10年11月、「法令などの障害表記を新たに特定のものに決定することは困難」との見解を示した。議論の背景には、「害」は否定的なイメージが強いとして「障がい」や「障碍」を求める障害者団体などの意見がある。山口県は「障害」表記の原則を変えていないが、自治体によっては「障がい」への見直しも進んでいる。【井上大作】

政府の障がい者制度改革推進本部がチームを設置し、自治体や障害者団体などからヒアリングを続けてきた。一般からの意見募集には637件が寄せられ、「障害」「障碍」の支持がそれぞれ4割、「障がい」または「しょうがい」が1割だった。

「碍」は昨秋の常用漢字表の改定でも注目されたが、追加が見送られた。佐賀県の古川康知事も追加を要望した一人で「碍は『妨げ』の意味で、他を害するという意味はない」と説明。チームは今後も議論を続け、14年をめどに結論を出す。

一方、内閣府によると、岩手や大分など10道府県が担当部署名などに「障がい」表記を用いている。熊本県は08年1月、法令や学術用語を除く文書表記を「障がい」に切り替え、担当部署も「障がい者支援総室」に変更した。同室は「多少の混乱はあるが、原則は平仮名で通している」とする。

山口県も08年、20の障害者団体にアンケートを実施。「『障がい』がよい」は3団体にとどまり、「『障がい』に違和感がある」が4団体、「県独自に変更することはない」が7団体だった。県障害者支援課は「平仮名にすることでかえって『害』が強調されるという意見もあった。受けとめ方はさまざま、現状は法律で用いられている漢字表記を基本的にしている」と説明する。

これに対し、次女が自閉症で、県議会で問題を取り上げたこともある久米慶典議員（共産）は「『害』はマイナスイメージしかなく、いい言葉ではない。抵抗のある（障害者の）家族は多いのが実感だ。平仮名表記の流れもあり、もう一度議論するべき時期ではないか」と提言する。

和歌山大にデイケア室 精神障害、学内で治療 復学や就労支援

産経新聞 2011年1月12日

和歌山大学（和歌山市栄谷）は11日、鬱病（うつびょう）や統合失調症などの精神障害をもつ学生たちを支援するため、精神科医やカウンセラーが治療を助ける「キャンパス・デイケア室」を開設し、本格始動させた。同大学によると、精神障害者は学外で治療を受ける例が多く、学内での精神ケアは全国でも珍しい取り組みという。

同室のプログラムでは、毎週火、木、金曜の午後にミーティングや薬の飲み方などの健康指導、反省会を行う。精神障害をもつ学生の早期発見と治療、再発防止に貢献し、復学や就労を支援する。学内にあることで、通学しながらの治療も可能になる。

同大学保健管理センターによると、精神障害をもつ学生は増えており、昭和57～平成4年の10年間では年平均10人だったが、同5年以降の10年では3倍以上に増加。昨年6月時点では50人で、鬱病などの気分障害が過半数を占めた。一般的な在学期間の4年間で、各学年で30人程度が精神障害になっているという。

センターは19年度から臨床心理士らをカウンセラーとして配置して試験的にプログラムを実施。症状の改善などがみられ、本格始動が決まった。ゲームやビデオ鑑賞などの集団療法に使う専用室を整備し、大学OBら4人もメンタルサポーターとして相談に乗る。

センター所長で精神科医の宮西照夫教授は「大学の門戸が広がり、心の病を抱えた学生の支援は今後必要になる。(14年から取り組む)ひきこもり回復支援のノウハウを生かし、全国のモデルとなるような取り組みにしたい」と話した。

大阪ニュース 「都構想」実現に意欲 橋下知事、ラジオ討論会で

大阪日日新聞 2011年1月12日

大阪府の橋下徹知事と民主、自民、公明、共産各党の代表者が10日夜の民放ラジオ番組に出演し、4月の統一地方選挙をにらんで討論した。橋下知事が代表を務めるローカルパーティー大阪維新の会の「大阪都」構想が最大の論点になり、橋下代表は「(維新の会は)都構想を実現する集団。できなければ先はない」と明言した。構想実現の「原理原則」に挙げた府議選、大阪市議選の過半数確保が仮にかなわなくても、「いろいろな事情で都構想実現の状況は政治の世界ではあり得る」と含みを残した。



ラジオ番組の討論に臨む橋下知事(中央)ら出演者 = 10日午後、大阪市北区

“いろいろな事情”について維新の会幹部は11日、本紙取材に「公明党は都構想に賛成も反対もしてない。選挙後、賛成するかもしれない、維新の会単独でなくても過半数になる」と語り、政策協調できる議員がいれば都構想は実現できるとの見方を示した。

府と大阪市などを再編する都構想について、公明党府本部の佐藤茂樹代表は番組の中で「現在はどちらとも言えない。このままなら賛成するわけにはいかない」と明言を避けていた。

一方、民主党府連の梅村聡幹事長代理は「政令市(大阪市)と府の二つのエンジンを使うべき」と語り、共産党府委員会の清水忠史国民運動本部長も「都構想を批判する」と統一地方選への姿勢を鮮明にした。

「道州制に移行した方が良い。都構想は古い」と指摘した自民党府連の谷川秀善会長は、維新の会の退路を断って統一地方選に臨む橋下代表に「熱意は感じるが、短気を起こすな」と諭すと、橋下代表は「大阪を変えるワンチャンスだ。今まで何も変わらなかった」と言い返していた。

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなく育成会 社会政策研究所発行